

まちカツ!

2/9 (土)

今年度も多摩区まちづくり協議会1年間の活動発表の場である「まちカツ!」を、約100人の参加者を迎え開催しました。ここでは熱気に溢れた当日の様子や発表内容をお伝えします。



本多正典会長

多摩区まちづくり協議会の1年間

まち協には、「まちの課題抽出とその解決」と「中間支援的機能の拡充」のミッションがあります。前者の活動は、2つのプロジェクト、委員の教育などを行いました。後者の活動は、まちカツ!におけるポスター展示やポスターセッション、多摩★まちCafe、多摩★まち大学、広報誌、ホームページなどを通して実施しました。また、研修企画部の新設、多摩エコスタイルプロジェクトの立ち上げ、多摩★まちCafeの開催、広報誌のリニューアル、ホームページの本格運用などに新しく取り組みました。後期のまち協は、活動団体や区民と手をつなぎ、さらにその輪が大きくなっていくように、課題解決に取り組めます。



今年度の活動報告は大勢の参加者を迎え行いました



Project 「多摩エコスタイル」の1年間

石郷岡代表

多摩区は「水や緑」に取り組む環境活動団体は多いですが、地域や家庭でのエコ活動・環境活動に関わる団体や個人はあまりありません。次世代により良い環境を引き継ぐために今からその仕組みづくりが必要と感じ、次の2項目に取り組むことを目的として昨年7月にスタートし活動しました。

1. 区民の環境に対する意識の向上

区内のイベントに積極的に参加し、「民家園通り商店会夏祭り」でエコ紙芝居を披露し、「サマーミュージアム」で会員募集を行い、「夏休みたまエコフェスタ」でたまエコマップを作成し、「区民祭」で1日1エコ運動展開や自然エネルギーの紹介などをしました。講座と



「1日1エコ運動」は区民祭をはじめ区内の各イベントで展開

しては「緑のカーテンを作ろう・ゴーヤの育て方講習会」「エコショッピングクッキング」をしました。また、まちづくり協議会のHPにブログを掲載しました。

2. 区内の環境団体とのネットワーク化と連携活動のための場の構築

「多摩★まちCafe」で「エコ」をテーマにして多摩区のエコ活動団体とコミュニケーションを図り、他の活動団体のイベントに参加し、「まちカツ!」では活動内容を紹介しました。

「エコスタイルがよく似合うまち!多摩」を目指して楽しくエコ活動を続けたいと思います。



民家園通り商店街夏祭り子どもたちに「エコ紙芝居」を披露



Project 「多摩の居場所ふらっと」の1年間

久野代表



1000人を超える人々と“場”と“楽しさ”を共有できました

「ちょっとお願い、手を貸して」「はい、いいですよ」と言い合える仲間がいると、安心して生活できるなあという思いから、人と人とのつながりをつくろうと活動を始めました。そのための“場づくり”と“出会いの仕組みづくり”をこれまで実践してきました。この4年間を振り返ると、

①「ふらっと」の活動が、地域に根付いてきたこと
②それにより常連さんもでき、新規の方も増えてきたこと
③メンバーが増えたこと
④新しい活動場の要望が出てきたこと
などが成果として挙げられます。具体的な活動は以下の通りです。

新しい出会い



赤ちゃん連れの若い夫婦が見えたり、同年代の人と話がしたいと寄ったり・・サロンで招いた先生がおしゃべりしにきたり、また学生も。さまざまな方と出会いました。

今年も続いています

あうん介護センターでの「ふらっと」も2月で25回。少しずつ常連さんができています。「一年ぶりかしら」と言いながら顔を見せた方。時々ふらっと寄る方など・・



ふらっと

コミュニティサロン

助け合い・橋渡し

他団体との連携

勉強会



クイリングで遊ぼう! 作って食べよう!
お月見のお話とはり絵
多摩農マップを歩こう会
折り鶴のお正月飾り

あなたの笑顔が一番(第3回)
季節の花めぐり(第4回)
自然観察会(第3回)
まちのみんなで★お楽しみ会(第3回)



稲田小・三田小の各わくわくプラザ、なのはな保育園、長尾こども文化センター、すかいきずで「割り箸テッポウ」や「ドラえもん折り紙」などを作りました。

東菅小・登戸小・宿河原小の各わくわくプラザでクイリングやサンタ作りなど、生田中学校では蒸しパン作りをそれぞれ行いました。



創作教室「ほっぺ」と連携して陶板作りを行いました。

広報紙の発行(11号)
民家園通り商店会夏まつり(第3回)
菅高校ボランティアメッセ(第2回)
わいわいお楽しみ会(第2回)



一年を振り返って《メンバーの感想》

○「超初級IT学習会」を受講したときにこの活動を紹介され、始めました。核家族になって二世、三世の家族が少なくなった現在、大変重要で必要とされる活動だと思いました。
○わくわくプラザでたくさんの児童と、「ドラえもんづくり」や「昔遊び」で初めて接した新メンバーの口々から、一様に「楽しかった」という言葉が出ました。ひと時の触れ合いが子どもたちの喜びを生み、相手をする私たちにも疲れを吹っ飛ばすような新しい喜びを与えました。もっともっと多くの人に参加してもらい、子どもたちとの触れ合いを通して地域での世代間交流をしていけたらと思います。